

# 坂梨孝一さんを応援します！

私が坂梨孝一さんと初めて話したのは、突然の1本の電話でした。その後直接お会いし、物腰の柔らかい知的な人だと感じました。またITに関して知識が非常に豊富だと分かりました。



向小金自治会 多田敏樹会長

日本政府はデジタル庁なるものを創りデジタル化にかなり力を入れていますが、高齢者などにはとっつきにくいところがあるように思えます。向小金は高齢者率が高くなっています。坂梨さんの豊かなITの知見を生かして欲しいものです。

この素晴らしい人材を眠らせておくのは向小金地区のみならず、流山市としても損失です。市政の場でその知見を発揮していただきたい。これからの流山市全体の発展のためにも必要不可欠な人材です。

バイタリティー、先見の明のある坂梨孝一さんを応援します。皆様のご支援のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

## ■ ボランティア活動

- ・ NPO法人ふれあい広場ながれやま
- ・ 向小金小学校避難所運営委員会
- ・ 流山落語同好会（高座名：徳利亭酒楽）
- ・ 交通安全協会指導員
- ・ NPO法人コミュニティ活性化応援団
- ・ エブロン応援団

## ■ 趣味

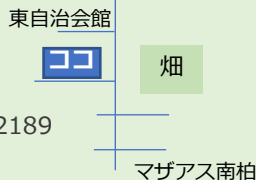
落語・映画鑑賞・サイクリング・DIY

## ■ プロフィール 流山市向小金（東自治会）在住

- 1952年 福岡県大牟田市生まれ
- 1969年 福岡県立三池高等学校卒
- 1974年 国立九州工業大学工学部制御工学科卒
- 1974年 沖電気工業株式会社入社
- 2006年～2008年 ZigBeeSIGジャパン理事長
- 2007年～2008年 知的オフィス環境コンソーシアム副理事長
- 2008年 株式会社プロビデント創業
- 2020年 NPO法人コミュニティ活性化応援団設立&副理事長
- 2022年 NPO法人ふれあい広場ながれやま設立&副理事長

## 「さかなし孝一後援会」（政治団体届出済）

- 後援会長 茂木功司（流山市東自治会 会長）
- 後援会事務所 270-0143 千葉県流山市向小金3-141-64  
☎04-7138-5557
- 連絡先 茂木 ☎090-5218-9779 坂梨 ☎090-7255-2189
- SNS <https://sakanashikoichi.work>  
<https://twitter.com/SakanashiKoichi>



いつまでも豊かに暮らせる流山



公式ウェブサイト



公式ツイッター



LINEで友達になる

さかなし孝一



# さかなし孝一

保守系無所属

# 「明るく楽しい豊かな暮らし」は「安心・安全」と「地域・町内活性化」から！

## より安心で便利な生活

### ■ 向小金地区の医療体制の整備

向小金地区には主な医療機関が内科のクリニックひとつしかありません。国道6号線で市の中心から分断されているこの地区は、発災時には「無医村」になる可能性が高くなります。医療体制の整備を検討したいと思います。

### ■ 幼児・児童の一時預かり施設の拡充

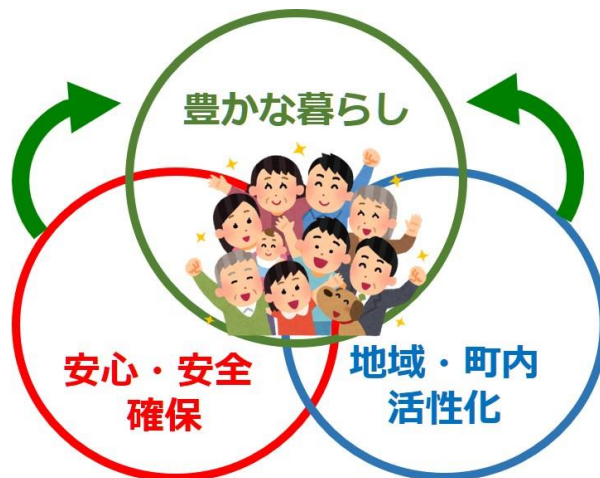
半日でも働きに出たいというお母さん・お父さんから、使い勝手のいい幼児・児童の一時預かり施設への希望が多く聞かれます。生産労働人口の増強にもつながります。

### ■ 公共交通機関の拡充

車や自転車が利用できない住民のため、公共バスを含めた何らかの交通手段が必要です。例えば向小金4丁目の住民が東部出張所まで歩くと、最短の名都借跨線橋（ゆずりあい橋）経由で約2km、往復1時間以上。たどり着く前に疲労困憊です。



流山ぐりーんバス路線図



## より安全に暮らすための災害対策

### ■ 公園の災害対策機能の強化

避難場所に指定されている公園に、井戸や簡易トイレなどの災害用設備がありません。柏市には発災時に簡易トイレになるベンチなどの整備された防災公園があり、参考になります。

### ■ 小中学校の駐車場の整備

先生方の車が多数駐車し、救急車両が通れない小中学校もあります。安全面からも駐車場整備が急務です。

### ■ 避難所運営訓練の実施

災害時は、避難所となる小中学校に多くの避難者が来ます。安心・安全な避難生活には住民による支援も欠かせません。地域住民への周知と訓練実施が必要です。



避難所運営委員会の地域住民向け勉強会でプレゼンをしています

## より活発な地域交流

### ■ 高齢者の社会参加と健康寿命の促進

コロナ禍で高齢者のフレイル問題が増えています。自治会や老人会も解決に向けたイベントなどを試みていますが、手が届かず孤独死の例も。高齢者の社会参加と健康寿命促進が必要です。

### ■ 多世代間交流イベントの開催

多世代間交流イベントなどで地域が一丸となれば、顔見知りも増えます。そうすれば平時も助け合いが増え、災害時には協力体制を築けます。



22年11月、ふれあいフェスタ向小金を企画開催しました

### ■ 自治体・自治会・市民のDXの促進

今やコミュニケーションに必須のスマホ。若者は使いこなして生活を豊かにしていますが、高齢者はまだまだです。政府がデジタル庁を設立するなどデジタル化が加速する中、自治体・自治会も、市民自体もデジタル化対応が必須です。私の得意分野です。